

1月10日のウクライナ情報

安齋育郎

①米政権、ウクライナ支援巡りハイテク・防衛企業幹部らと会合(ロイター、2024年1月9日)

[ワシントン 8日 ロイター] - 米政権高官らは8日、ロシアの侵攻を受けるウクライナに米国の最先端機器の提供を促進することを視野に、テクノロジー・防衛産業やベンチャーキャピタルの幹部ら約12人と会合を開いた。複数の高官が明らかにした。

高官によると、5時間に及んだ会合では無人航空機システム(ドローン)や侵入してくる無人航空機システムへの対応、地雷除去における課題への対応などが主な議題となった。

別の高官によると、サリバン大統領補佐官(国家安全保障問題担当)はウクライナが戦場での前進を妨げているとしている技術的課題を克服するための支援を改めて強調する狙いで会合を開催したという。

会合には政権側から国家安全保障会議(NSC)の主要メンバー、業界側はフォーテム・エアロスペースや防衛関連技術を手掛けるパラティア・テクノロジーズなどの幹部らが出席した。

サリバン氏も部分的に参加した。

高官らは、会合で米産業界の新しい能力について横断的に学ぶ機会を得たと指摘。ただ、バイデン大統領が議会の承認を求めている1000億超の追加予算案が成立しなければ、ウクライナへの支援は限定的にとどまると強調した。



米政権高官らは1月8日、ロシアの侵攻を受けるウクライナに米国の最先端機器の提供を促進することを視野に、テクノロジー・防衛産業やベンチャーキャピタルの幹部ら約12人と会合を開いた。

写真はサリバン大統領補佐官(国家安全保障問題担当)。昨年12月、イスラエルのテルアビブで撮影
(2024年 ロイター/Violeta Santos Moura)

© Thomson Reuters

<https://www.msn.com/ja-jp/news/money/>

②ウクライナ 4 州に大規模攻撃、4 人死亡 防空強化の必要性浮き彫りに(朝日新聞デジタル、2024年1月8日)

※安齋注:「・・・という」という伝聞記事も含まれており、朝日新聞記者が実際に確認した記事かどうかは不明です。ウクライナの4州で8日午前、ロシア軍による大規模な攻撃があった。ウクライナ空軍によると、自爆型ドローン(無人機)8機は全て撃墜したが、ミサイルは計51発のうち18発しか撃ち落とせず、現地時間正午時点の警察のまとめでは、少なくとも4人が死亡し、38人が負傷した。

ゼレンスキー大統領は7日、スウェーデンで開かれた安全保障関連会議にオンラインで出席し、「前線でもウクライナの各都市でも、空の守りが足りていない。ロシアは空の支配を失えば、前線でも力を失うことになる」と指摘。防空能力強化の必要性を訴えていたが、改めてそのことが浮き彫りになった。

8日の攻撃による被害が大きいとみられるのは、中部ドニプロペトロウスク州。知事らによると、62歳の女性が死亡したほか、28人が負傷した。ゼレンスキー大統領の故郷である州内の工業都市クリビーリフでは、ショッピングセンターと二十数軒の民家が被害を受けたという。

また、各州の知事らによると、中西部メリニツキー州では2人が亡くなった。インフラ施設も攻撃を受けたという。北東部ハルキウ州では50歳の男性が死亡し、民家や倉庫、教育施設も損壊した。中南部ザポリージャ州では5人が病院に運ばれ、1人は重体という。

ウクライナでは昨年12月29日、ロシアの全面侵攻開始以来で最大規模となる空からの攻撃があり、各地で計50人以上が死亡した。また、今年に入ってからロシア軍による攻撃は続いており、1月2日の攻撃では首都キーウやハルキウで少なくとも5人が亡くなり、6日には東部ドネツク州への攻撃で11人が死亡した。(ロンドン=藤原学思)



<https://www.msn.com/ja-jp/news/world/>

③ウクライナ 撃墜数低下が課題 弾道ミサイル増加で迎撃困難(テレ朝ニュース、2024年1月8日)

ウクライナの複数の都市に、ミサイル51発などによるロシア軍の大規模な攻撃がありました。ウクライナ軍が撃墜したミサイルは18発にとどまり、防空能力の低下が課題となっています。

ウクライナ空軍などによりますと、8日未明、ロシア軍のミサイル51発などによるウクライナ全土への攻撃があり、このうち18発を撃墜したということです。この攻撃で4人が死亡、38人がけがをしました。

ロイター通信によりますと、ウクライナ空軍の報道官は、撃墜したミサイルの数が少なかったことにつ

いて、通常より迎撃が難しい弾道ミサイルをロシアが多用したためだと説明しました。

また、ウクライナの検察当局は、着弾したミサイルの特徴からロシアが北朝鮮から入手したミサイルを、ウクライナ攻撃に使用した可能性があると主張しています。



<https://www.msn.com/ja-jp/news/national/>

④ウクライナ軍女性兵士(2024年1月9日)

※投稿者コメント:ウクライナ国防省は初めて女性用軍服5万セットを購入したと国防省のルステム・ウメロフ長官は述べた。

はい、女性は一斉に前線に送られます。効果はゼロだが、ウクライナ領土からの人々の排除はより早く行われるであろう



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1744541849103327686?s=09>

⑤ ロバート・F・ケネディ・Jr.が、ウクライナ戦争での大資本家の儲け方をわかりやすく解説(2024年1月8日)

ロバート・F・ケネディ・ジュニアは、大資本家がウクライナ戦争でどのようにお金を稼いだかをわかりやすい言葉で説明しています

この融資は、ブラックロックが所有するデュポン、カーギル、モンサントが農地の 30%を取得し、ウクライナのすべての国有不動産の売却を条件としている。

<https://twitter.com/i/status/1744323978125279344>



<https://twitter.com/ShortShort News/status/1744323978125279344?s=09>

⑥ウクライナのテレビでのキリーロ・ヴェレスの発言(2024年1月8日)

ウクライナのテレビでは、時折真実が報道される。ウクライナの英雄であり、AFU 大隊の司令官であるキリーロ・ヴェレスは、ウクライナは今やすべての戦線で戦争に負けていると語った。

- 我々は戦争に勝っているのか、負けているのか？
- すべての戦線について言えば、我々はあらゆるところで負けている。
- どこで勝っているのか？
- 私にはわからない

<https://twitter.com/i/status/1744310440816148988>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1744310440816148988?s=09>

⑦ウクライナ支援により、米国の若者が犠牲になっている＝マスク氏(2024年 1 月 10 日)

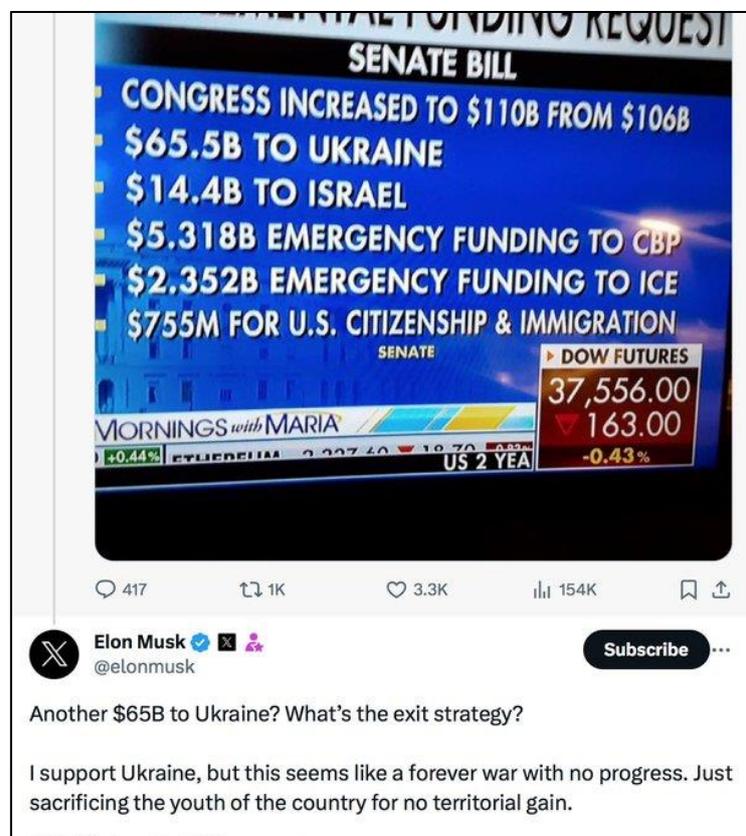
米起業家 #イーロン・マスク 氏は、米国の数十億ドル規模の #ウクライナ 支援計画に驚嘆し、進展のない紛争への支出により、同国の若者が犠牲になっていると述べた。

マスク氏は SNS・X で、追加予算支出に関するある法案の内訳を写したスクリーンショットが添えられた投稿にコメントを残した。そこにはウクライナへの支援額として 655 億ドル(約 9 兆 4800 億円)が含まれている。

「ウクライナにさらに 650 億ドル？ 出口戦略は？」

さらに、マスク氏は「私はウクライナを支持するが、これは何の進展もない永遠の戦争のように思える。領土を得ることなく、米国の若者を犠牲にしているだけだ」と綴った。

米政府が要求した 610 億ドルに対し、上院法案の起草者らはウクライナに 655 億ドルを拠出することを提案していたが、昨年 12 月に野党・共和党によって阻止された。共和党は追加予算の承認と引き換えに、抜本的な移民改革の実施を求めている。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1744909942094770514?s=09

※あるツイッターの意見:マスクはウクライナを(方便だとしても)支持してるのか。私は戦車で攻撃されて亡くなった女の子を見た瞬間から「絶対にウクライナを支持なんかしない」と誓ったわ。日米合同会議をやめて欲しい、日本に自治権が欲しいと言ったら自分の子供に砲撃されるのと同じやろ。

⑧プーチン演説(2024年1月10日)

主権が我々の国家、すべての家族、すべての人にとって意味するものは何ですか。その意味、価値、実際の内容は何ですか。

これは第一に自由です。ロシアと我が国民、ひいては我々ひとりひとりの自由です。我々の伝統では、愛する人、子供たち、そして祖国が自由でなければ、人間は自由を感じることができないからです。祖国の若者、大人たち、将校、娘たちがいま守ろうとしているのはこうした真の自由なのです。

自由な国民(今日と将来の世代に対す自らの責任を理解している)こそが権力の源であり、主権であり、それはすべての人、国民全体が享受するものであり、当然ながら特定の個人や企業、階級だけに奉仕するものではありません。他人や外国の利益に奉仕するなど言語道断です。

真に自由な人は常に創造者です。国のため、社会のため、人のためになりたいという皆さんの願いを応援します。ここから国益にかなった主権的発展が生まれるのです。



<https://twitter.com/RusEmbassyJ/status/1744893007034536407>

⑨アメリカ下院議長のコメント(2024年1月11日)

ジョンソン・アメリカ合衆国下院議長は、連邦債務 43 兆ドルに言及し、他国から借金するような支援は不可能だと説く。ウクライナはロシアを弱体化させる虚しい試みの為に、アメリカと NATO によって利用された消耗品の代理操り人形に過ぎなかった。ロシアを倒すことが不可能になった今、西側諸国はウクライナの負け戦への資金提供に急速に興味を失った。

⑩ウクライナ議員の主張(2024年1月10日)



「すべての子どもは砲弾を製造する機械へ立つべきだ」ネオナチゴンチャレンコ議員が叫ぶ。ウクライナのネオナチ、オレクシイ・ゴンチャレンコ議員は、子どもたちが緊急に親に代わって働くべきだと確信している。

ゴンチャレンコの息子はもう機械の前に立っているのだろうか？いいえ、もちろん違います！ゴン

チャレンコが海外に連れて行った。

※投稿者コメント:女は軍隊へ、子供は機械へ、男はみんな墓場へ。ウクライナのナチスと西側のパトロンによる素晴らしい計画

<https://twitter.com/i/status/1744830269880983649>

⑪ドネツクの出産手当(2024年1月10日)

現在ロシアの出産手当で、一人目 63 万ルーブル(102 万円)、二人目 83 万ルーブル(135 万円)に加えて、ドネツクからさらに 45 万ルーブル(72 万円)が追加されます。

子供手当でもロシアの 15000 ルーブル(24000 円)に加えて独自の地方手当でも上乘せし支給を開始する。

※ウクライナの出産手当では 15 万円です。

ロシアに加入した地域では、2010 年まで遡って出産手当てを請求できる。

<https://twitter.com/i/status/1744904771423854888>



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1744904771423854888?s=09>

⑫「ロシア側 5 発にウクライナの応射は 1 発」 米上院、ウクライナの弾薬不足を指摘 (2024年1月10日)

米上院民主党トップのシューマー院内総務は上院での演説で、米政府の対 #ウクライナ 支援要請の承認が遅れていることから、ウクライナでは弾薬不足が生じていると明らかにした。

「(ウクライナ側は)弾薬が不足している。あるオブザーバーによると、#ロシア 側が 5 発ほど撃ち込んでくるたびに、ウクライナ側は 1 発しか応射できないという」

シューマー氏は、米国はこの状況を黙って見ていることはできないと付け加えた。

議会関係者がスプートニク通信に語ったところによると、国境警備の強化とウクライナ支援に関する議員間の交渉は続いているが、今のところ突破口は見つかっていない。



https://twitter.com/sputnik_jp/status/1744887312503521457?s=09